

さらなる情報発信と組織の効率化を図る

(一社) 田沢湖・角館観光協会が発足



オープニングセレモニーで関係者によるテープカット。



事務所前には新しい看板が設置されました。

4月1日、田沢湖・角館観光連盟と田沢湖・角館町、西木町の3観光協会が合併し、新たに「(一社) 田沢湖角館観光協会」が発足しました。当日は、小雨まじりの天候となりましたが、事務所を構える「仙北市憩の場角館スタシオン」前では、盛大にオープニングセレモニーが開催され、観光協会の会員や関係者など約90人が出席しました。

新会長に就任した佐藤和志会長は「仙北市が秋田県の観光の玄関口であることを誇りに、連携を強化し活動に取り組みたい」とあいさつ。引き続き、観光客などが見守る中、同観光協会の新しい看板がお披露目され、テープカットで新たな門出を祝いました。

外ノ山国有林を活用し環境教育を



協定書を手に記念撮影。左から小林会長、門脇市長、二村署長。

3月22日、秋田森林管理署・仙北市・角館まちづくり地域運営体の3者による「外ノ山遊々の森」協定締結式が角館公民館で行われました。

これは、林野庁の「遊々の森制度」により、協定を結ぶことで外ノ山国有林4・58ヘクタールを森林環境教育など活動の場として市民が活用できるものです。今後は、アクセス道路やコース案内看板などの設置を行い、安全に森林に入れるように整備を行っていきます。

同運営体の小林会長は「市民が安全に遊ぶことができる里山づくりをめざしたい」と話しました。また、秋田森林管理署の二村署長は「活動の場の提供だけでなく、環境教育をしていきたい」と話しました。

仙北市の花まつり

例年になく大雪だった長い冬も終わり、間もなく雪の下で静かにじっと耐えた花たちが私たちに春の訪れを知らせてくれます。可憐に咲き誇る仙北市の花まつりをぜひお楽しみください。

国道46号沿いのハンノキ林に囲まれた約3ヘクタールの刺巻湿原にミズバショウが一面に咲き誇ります。時折ザゼンソウやカタクリも顔をのぞかせ彩りを添えます。木道が整備されているので気軽に散策することができ、花たちを間近で見ることができます。

見ごろ 4月中旬～5月上旬

おすすめ 郷土芸能の発表や地元の業者による出店でお食事も楽しめます！

花言葉 美しい思い出

問 仙北市田沢湖観光情報センター「フォレイク」
☎ 0187-43-2111



刺巻水ばしょう祭り

4月13日(金)～5月5日(祝・土)



かたくり群生の郷

4月18日(水)～5月5日(祝・土)

西明寺栗を栽培する栗林の20ヘクタールにもおよぶ広大な敷地に、可憐なかたくりの花が群生しています。その規模・密度ともに日本最大級といわれ、うつむきかげんに一斉に花開く様子は、まるで薄紫色の絨毯を敷き詰めたかのような美しさです。

見ごろ 4月中旬～5月上旬

入園料 大人(高校生以上) 300円

おすすめ 数万本に1本しか咲かないといわれている希少な白花のかたくりを探してみてください！

花言葉 初恋

問 西木観光案内所 ☎ 0187-42-8480

武家屋敷通りには、黒板塀に映えるシダレザクラが道の両側に連なります。町内の約400本のうち162本が国の天然記念物に指定されています。桧木内川堤には、約2キロメートルにわたってソメイヨシノが桜のトンネルを作りだし、町中を桜色に染め上げます。

見ごろ 4月中旬～5月上旬

おすすめ 夜にはライトアップが行われ、昼とは違う美しさの夜桜をお楽しみください！

花言葉 優れた美人

問 仙北市観光情報センター「角館駅前蔵」
☎ 0187-54-2700



角館の桜まつり

4月20日(金)～5月5日(祝・土)

防災クロスロード研修会



和気あいあいとした雰囲気の中、参加者はグループごとに難問にチャレンジしました。

3月24日、災害時の状況をシミュレーションし、どう行動するかを考える「防災クロスロード研修会」が角館交流センターで開催されました。

クロスロードは、平成7年の阪神淡路大震災で災害対応にあたった神戸市職員の実話をもとに、大学教授やゲームデザイナーたちが開発した災害シミュレーション。研修会では、市民団体『あきたクロスロード研究会』の発起人であり、大仙市や仙北市などを中心に活動するメンバーが講師を務めました。

当日は、市民や県外の方々、高校生などが参加し、グループごとに設問について考えました。参加者は、カードゲームを通じて究極の選択に迫られ、様々な立場の人に生じる課題の解決に向けて「イエス」か「ノー」の判断を繰り返し、選んだ理由について意見を述べ合いました。



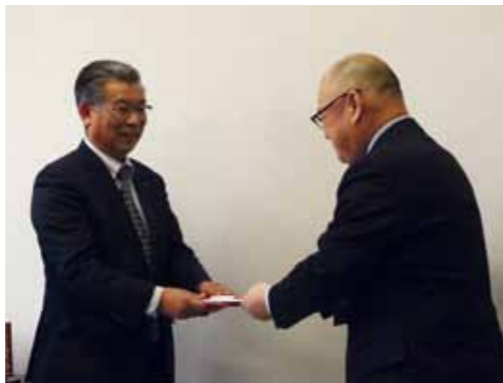
仙北市食育推進事業

山の芋活用料理教室

農家民宿などを営む方々を対象に、3月15日、就業改善センターで「山の芋活用料理教室」が開催されました。

今回のメニューは、毎年JA秋田おぼこ田沢湖支部女性部が行っている「生活工夫展」の受賞作品より『山の芋と甘酒角天』と定番の『山の芋鍋』です。山の芋を調理するのは初めてという方もいて、独特のねばりを感じながら和気あいあいと調理を楽しみました。調理後は日頃の情報交換を兼ねた試食会を行い「地産地消メニューとして提供できるように今後も勉強したい」という意見もあるなど、充実した教室となりました。

JA秋田おぼこの齊藤武志常務理事（左）から寄付を受け取る門脇市長（右）。



交通事故死ゼロ 仙北市が365日達成

3月20日、仙北市が交通事故死ゼロ365日達成したとして、秋田県警察本部長から顕彰状が送られました。

仙北市では昨年3月7日以来、死亡事故が発生しておらず、平成27年に続き今回で5回目となります。

仙北市役所田沢湖庁舎で行われた伝達式では、仙北警察署の富樫司署長から門脇市長へ顕彰状が手渡されました。

門脇市長は「『声かけ運動』の継続が成果として現れてきているのではないかと。今後は外国人観光客等へ向けた交通事故防止の体制づくりに積極的に取り組んでいきたい」と話しました。



富樫司署長（右）と門脇市長（左）。

農業体験学習の売上金を寄付

JA秋田おぼこ西木宮農センターが食育教育事業の一環として取り組んでいる西明寺小学校6年生の農業体験学習が、今年で7年目を迎えました。

農業体験は、西木町の農家・佐藤一也さんより圃場の提供と指導をいただきながら、ネギの定植から収穫作業、販売までを行うものです。

このたび、佐藤さんご厚意で、昨年の仙北市産業祭で実施した販売体験学習の売上金63,000円が、JA秋田おぼこを通じて仙北市に寄付されました。

門脇市長は「汗を流して植え付けから販売まで頑張った生徒の皆さんのために、有効に活用させていただきます」とお礼を述べました。

平成29年度「支え合いの地域づくり」担い手養成講座

平成29年度「支え合いの地域づくり」担い手養成講座が、2月16日から3月16日までの毎週金曜日に開催されました。

この講座は、生活支援体制整備事業として仙北市社会福祉協議会との共催で、西木温泉ふれあいプラザ『クリオン』等を会場に開催されました。講座に申し込まれた方は48人。そのうち全日程を終了された方は25人で、実際に担い手として登録された方は32人でした。最終講座では、全日程終了された方に修了証書が授与され、活動体の愛称が「仙北地域かがやき隊」に決定しました。

受講者からは「支え合いの地域づくりの実践側の話が参考になった」「助け合い体験ゲームを通じて助けられ上手、助け上手の考え方がためになった」「現在の自分、10年後の自分、今の自分にできることや予防等、知識を得ることができた」と参加しました。何をすることも一人ではできないことも地域ぐるみで参加したいと思いましたが、今後の感想をいただきました。今後、かがやき隊の皆さんには、地域のちょっとした困りごとの解決に向けた活動や支え合いのある地域づくり、体制づくりにご協力いただく予定となっています。



2月23日/お口の健康・仙北市の高齢者施策・生活支援コーディネーターの活動について。



3月9日/生活支援時の心がけ・健康体操・緊急時の対応・ケアマネ視点の支え合いについて。

仙北市の農業体験が旅行商品に

仙北市農山村体験推進協議会と日本航空（JAL）、民泊サイト運営会社「百戦錬磨」が、市内の農家民宿で農業や郷土料理作りが体験できる旅行商品の販売を始めた。

3月26日、市役所田沢湖庁舎で開かれた会見には、同協議会の佐藤裕之会長、JALの小松山大介エリア販売推進室長、百戦錬磨の上山康博社長、門脇市長が出席しました。

この旅行商品は、5月7日から10月31日までの期間、JALの往復航空券と宿泊施設のパッケージツアーを活用し、市内の農家民宿4軒から宿泊先や体験メニューを選択していただくものです。佐藤会長は「地域のひととの交流を通じて、仙北市のディープな体験を味わってほしい」と話しました。

また、小松山室長は「農家民宿に特化した旅行商品の企画は初めて。ターゲットは首都圏在住者にしていくが、最終的にはインバウンド（訪日外国人客）の増加につなげたい」と、上山社長は「仙北市は教育旅行を中心に農家民宿に取り組んできたノウハウがある。これからは個人客やインバウンド向けの商品を発信していきたい」と話しました。

農家民宿を取り入れた旅行商品の販売を発表した佐藤会長、小松山室長、上山社長、門脇市長（左から順に）。



仙北市スポーツ賞表彰式

3月25日、角館榊細工伝承館で仙北市体育協会（菅原陽三会長）が主催する「平成29年度仙北市スポーツ賞表彰式」が行われ、競技の指導や普及に努めた指導者と各種大会で優秀な成績を残した33個人、5団体が表彰を受けました。

【受賞者 ※敬称略・（ ）は競技種目】
 ▼普及振興賞 佐藤長繁（柔道）
 ▼栄光賞 伊藤雅英（ソフトテニス）
 澤山輝和（同）・小林さくら（水泳）
 田口満（陸上）
 西村謙一（ボウリング）
 大桃克也（フライングディスク）
 藤本拓也（同）
 田口裕幸（ボウリング）
 藤原シゲ子（陸上）
 門脇睦美（ボウリング）
 田口ちづる（フライングディスク）
 糸井幸世（ハレーボール）
 田村茉衣（同）
 伊藤えみり（山岳）
 田口陽介（同）



▼奨励賞 富澤力凰（野球）
 野村将臣（同）
 岩田晴（空手）
 鎌田宇朗（スキー）
 湯澤慶太郎（空手）
 能美晴理華（柔道）
 佐々木碧波（スキー）
 佐々木雄（空手）
 新田悠仁（同）
 小野翔（剣道）
 三浦剛貴（バドミントン）
 松本唯（柔道）
 田牧勇我（空手）
 高橋慶多（同）
 金谷大雅（同）
 佐々木竜生（同）

▼団体奨励賞 角館中学校 駅伝部男子（駅伝）、大曲 仙北クラブ（野球）、神代 中学校野球部（野球）、西木 Jr・B・C スポーツ少年団（野球）、角館小学校 角館マックス（野球）

平成29年度 消防功労者表彰式

3月23日、秋田県庁第2庁舎で消防功労者表彰式が行われました。日々、消防団として市民の生命財産を守り、地道な努力と研鑽を積んできたことが高く評価されました。受賞おめでとうございます。

【消防庁長官表彰】
 ▼永年勤続功労章
 ◆第1分団（田沢湖地区）分団長 浅利弘
 ◆第5分団（西木地区）分団長 福岡克巳
 ◆第9分団（角館地区）分団長 青柳良信



【日本消防協会会長表彰】
 『表彰旗』は、消防に対して厳格な技能を持ち、かつ長年にわたり使命達成に努めてきた消防団に与えられるもので、仙北市消防団は結成以来、初の受賞となります。
 ▼功績章 消防団長 荒木田俊一
 ▼精績章 消防団副団長 渡辺勇悦
 ※役職は3月23日現在です。

まちづくり日記 No.130

『郵便局の野菜販売で思うこと』

仙北市長 門脇 光浩

4月3日、西木町の松木内郵便局で野菜の販売が始まりました。県内で初めての取り組みです。少し以前から、お試し販売もを行い、これが大変に好評だったことから正式なスタートとなりました。名付けて「松木内郵便局マルシェ」のマルシェ。※マルシェは市場。郵便局で野菜の販売。…、何だか不思議ですが、でも実際お伺いしてみたら、これは面白い！

同局の佐藤智恵美局長は、これまでも郵便局の高度利用を進めてきました。最近、秋田内陸縦貫鉄道を利用する外国のお客さまに、地域の観光案内も行っています。市民にとっても、また来訪者にとってもオープンな郵便局で、業務外の立ち寄りも大歓迎のこと。

ところで、同地域は買い物に難儀している人が大勢います。近くのスーパーが閉店してからは、特に高齢の皆さまは困っていました。今回の野菜販売も、そんな皆さまの不便解消が目的です。農家にお声をかけをし、まず友だちの門脇富士美さんがホウレン草やジャガイモ、ネギを出荷してくれました。わりと多くの農

家に出荷を呼びかけ中です。今は農産物に限っての販売ですが、将来的には加工品も取り扱えるよう、本社に要望しているお話もありました。

今回の野菜の販売は、目から鱗のアイデアです。でも、佐藤局長は「民営化の以前、角館郵便局では観光客用にお土産品の販売をしていました。新しい発想でもないんです」とあっさり。門脇さんも「郵便局は地域の拠点ですから。地域の方々に喜んでもらえるなら嬉しいですし、全く力みがありません。

仙北市では、税金などお近くで納付できるよう、この4月から郵便局やコンビニでの収納を始めました。また、これまでも災害対応や一人暮らしの安否確認、ふるさと納税故郷便の発送など、様々な場面で連携をしてきました。来年度は、住民票や印鑑証明など諸証明を発行できるよう準備を進めています。

松木内郵便局の取り組みから、たくさんのご意見を学んだと思います。仙北市も公共施設の高度利用を、もっともっと柔軟に叶えたいと思います。皆さまのご意見をお待ちしています。

かくのだてフィルムコミッション

ロケーションだより

Kakunodate Film Commission
 かくのだてフィルムコミッション
 (仙北市観光課内) ☎ 43-3352
<http://kakunodate-fc.jp/>

も観光課が事務局となっています。しかし、人事異動に伴い、担当者が数年で変わることも事実です。いかにして活動を維持していくのが課題です。組織全体でFC活動を共通理解していることも重要です。年に1回は組織内で講習会や勉強会等の機会を設けて学んでいきたいと思っています。

また、地域住民の皆さまのご協力も不可欠です。自治体、各団体、市民が連携し、さらなるFCの活動の広がりにつながることを期待します。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

(会長 坂本 洋)



角館榊細工伝承館前での撮影風景。